



ブレーキのエア抜き

アドバイス

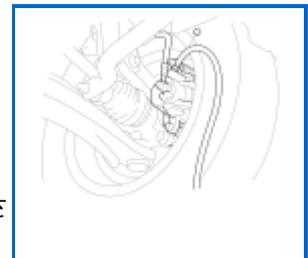
- ブレーキフルード補充時に、ごみや水を混入させないこと。
- 化学変化を防止するため、銘柄の異なるブレーキフルードを使用しないこと。
- ブレーキフルードは、Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT3またはDOT4を使用すること。
- ブレーキフルードは塗装面を傷めるため、部品類に付着させないこと。付着した場合はすぐに水で洗い流すこと。
- 抜取ったブレーキフルードは再使用しないこと。



1. リザーバタンク (A) からフィルタを外し、タンクからフルードおよび沈殿物を吸取る。
2. マスタシリンダリザーバタンクのMAX (上限) 線 (B) までブレーキフルードを補充する。

3. ブリードスクリュに透明チューブ (A) を接続し、適当な容器でブレーキフルードを受ける。
4. アシスタントがブレーキペダルをゆっくりと数回踏込み、強く踏んだままにする。
5. ブリードスクリュをゆるめて、ブレーキフルードとともにエアを排出させる。フルードが勢いよく流れ出なくなったら (ブレーキペダルが床についたら)、ブリードスクリュを締める。

フロント



6. ブリードスクリュからエアが出なくなるまでステップ 4、5の手順を繰り返し、ブリードスクリュを規定トルクで締付ける。

知識 作業中にリザーバタンク内のブレーキフルードがなくならないように注意し、必要な場合は補充する。

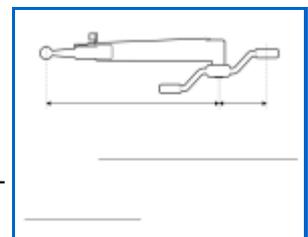
リヤ



7. 前記ステップ 2 - ステップ 6の手順を、各輪ともエアが抜けるまで行う。

8. ブリードスクリュキャップを各ブリードスクリュに取付ける。

知識 ブリードスクリュの締付けは、フレアナットレンチ (A) (市販工具) を用いて、の方法でトルク表示を読み取る。



9. リザーバタンク内のブレーキフルード量を確認し、必要に応じてブレーキフルードを補充する。

10. 安全な場所で試走し、ブレーキの利き具合を確認する。